

聖マリアンナ医科大学(後期) 英語

2026年 3月 3日実施

[I]

[1] ・植物が互いにどれほど密接につながりを持っているか、そして根や電気信号、地下の菌類や土壌微生物とのつながりを介して、いかに効率的に仲間の植物と情報をやり取りできているかについての発見。

[2] d

[3] (a) ・化学物質による土壌汚染、森林伐採、気候変動

(b) ・防衛反応や遺伝子調節等の植物の反応行動が変わることで、植物に害が出やすくなり、世界中の生態系を保全・回復させるのがより難しくなる。(65字)

[4] う

[5] 順に a, e, c, d, b

[解説]

[1] ただの指示語の問題。第4段落 Recently, scientists discovered~soil microbes. までを単純に和訳すればよい。

[2] 第一に、large fungal networks (=) the “wood wide web” (=) This network である。そして、設問から、求められるのは、「結果」であるため、allowing them to share resources ... であり、次の文で、Through this system より、older trees can help ... 以降も結果であると考えられる。また、段落最終文でも、... it allows plants to use fungi ... とあることから、ここまでの内容をまとめた選択肢が正解となる。

[3]

(a) 下線部の原因を答える問題。つまり、damaging the soil through chemicals, deforestation, or climate change だけを書けばよいと分かる。can disrupt 以降を含めると減点になるだろう。

(b) the effects of damaging ... より、effects の具体化部分を書けばいいと分かる。また、下線部の内容は、by affecting ... connected とつながる。つまり、要求されているのは、can disrupt ... connected までを書けばよい。

[4] 指示語特定問題である。S[抽象] include O[具体] の関係を利用すれば、これ以外選択肢はないだろう。

[5] (a)は、第1段落以降で書かれている。(e)は、第3段落以降で書かれている。(c)は、第5段落を中心に書かれている。(d)は、第7段落を中心に書かれている。(b)は、第8段落以降で書かれている。キーワードで解けてしまうだろう。

[II]

1. a 2. d 3. a 4. (1) d (2) d (3) b 5. b 6. b, e

[解説]

1. ..., which~は「そしてそれ~」と訳されることが多い。and it のようなイメージ。今回は which の直前に below があるので、解答は上記のものになる。

2. **weather** は V のときに「[名詞] をさらす」という意味。しかしそれを知らずとも、「ほとんど目に見えなくなるまで浸食した」という次文の内容からも推測して解くことはできる。
3. 空欄部の 3 行上の **its date remained a mystery** が解答根拠。「いつ頃のものか分かっていない」からそれを知りたいと思っている筈。
- 4.
- (1) 消去法で解いても良いが、**on top of each other** で「重なり合って」という意味なので、「層になる」という意味の **layer** から解答を出すこともできる。第 4 段落目の内容全体が解答根拠。
- (2) 第 5 段落 3 文目に **Engraving tools** に関する記載はあり、また下から 4 行目に芸術品という意味もある **artifacts** に関する言及されている。
- (3) 第 5 段落 4 文目に合致。因みに **sediment** は「堆積物」という意味。
5. 最終段落第 1 文目にかつての実態が書かれており、ここが解答根拠。空欄部の直前に **even for us today** とあるが、裏を返すと「昔もそうだった」ということ。
- 6.
- (b) 「第一のロックアートパネルの地層を分析したところ、それらの一つは約 1 万 2000 年前に形成されたことが明らかになった」が正解である。第 5 段落において、ラクダが彫られた岩直下の地層を分析したこと、そのうちの地層の一つはルミネッセンス年代測定法によって 1 万 2000 年前に遡ることが明らかになったことが述べられており、合致する。
- (e) 「研究者が発見したロックアートは、1 年の特定の時期にだけ水で満たされる池の近くに位置していた」が正解である。最終段落において、1 万 2000 年前に古代人がロックアートを遺した場所は、**seasonal lakes** であったと述べられており、合致する。

[Ⅲ]

1. (1) d (2) a (3) d (4) c (5) a (6) b
2. (A) b (B) c

[解説]

- 1.
- (1) 「A, B, C, D のいずれであれ〜」であるから、(d) **whether A, B, C or D**。
- (2) この文章全体は、ストレスへの対処法を述べたものであるから、(a) 「どう対処するか」が適切。
- (3) この段落は、ストレスがもたらす兆候にどのようなものがあるかについて述べ、それらに気づくことの重要性を述べているので、(d) 「ストレス信号に気づくこと」である。
- (4) 「先だって計画する」であるから、(c) **ahead** が適切。
- (5) 1 つの事柄を対処可能な小さな部分に分割することという助言が述べられているので、(a) 「一度に一つ」が適切。

(6)「時間が経過すると」は、前置詞(b) over を用いて、over time と表現する。

2.

(A) ここでは、ストレスを(b)「制御する」という意味が最も近い。

(B) review 「～を見直す」は、(c) go over という熟語表現で言い換えられる。

【総評】

例年通りの3題構成で、長文2本(記述式+客観式)の分量および難易度も平年並み。前期では昨年度までに比べ記述量が減少したが、後期でもその傾向を踏襲し、かなり控えめであった。大問3では昨年度あった会話文は出題されず、前期と同様の短いパッセージ中の空所を文脈に合うよう補う読解問題に変更された。概ね前期と同等の難易度と判断し、一次通過ラインは75%程度か。

医大別直前二次試験対策講座(後期)

- 埼玉医科大学 (般後・共)
- 昭和医科大学 (般Ⅱ期)
- 日本医科大学 (般後)
- 獨協医科大学 (般後)
- 金沢医科大学 (般後)
- 日本大学 (N方式2期)
- 聖マリアンナ医科大学 (般後・共)

合格を勝ち取る！
各大学の二次試験の要点解説と面接対策

◆スケジュールについてはHPでご確認ください。



本解答速報の内容に関するお問合せは



03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校 **メビオ** ☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校 **英進館メビオ** 福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

26年度解答速報はメルマガ登録またはLINE友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録



LINE登録

